

知っていますか？  
この言葉

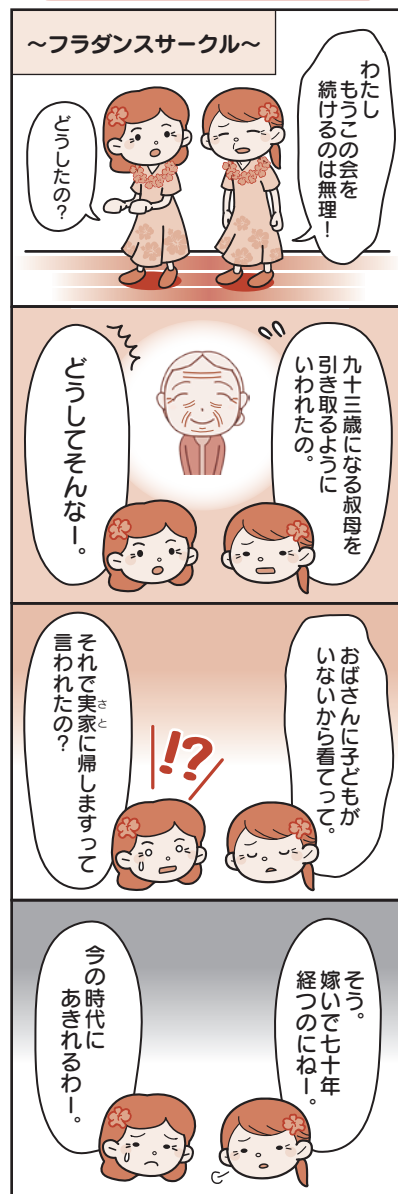
アイメイトを知っていますか？

先日、東京から電車での帰り、ちょうど帰宅ラッシュに巻き込まれました。友人と二人つり革につかまりながら乗っていたとき、アイメイト(盲導犬)を連れた男性が乗ってきました。混んでいる車内で皆がどういう反応をするのか気になりました。座っている人がすぐ席を譲るのかと思っていましたが全員知らんぷり。アイメイトは人々の間で足を踏まれそうになっています。いたたまれなくなり、次の駅で停車したとき一つの席が空いたので友人と二人でその男性を誘導して座らせました。アイメイトは男性のイスの下に入りうずくまりました。それでも大きいので体の一部がイスから出てしまいます。乗り降りする人々は気を遣うでもなく、私たちはハラハラのし通しでした。皆疲れているのか、関心がないのか、慣れているのか、暗い気持ちになりました。せめて隙間を少し空けてあげるとか、乗り降りに手を貸して欲しいと思いました。人がどんどん入ってきて離れてしまい、結局手を貸すこともできずその方は降りて行きました。



障がい者差別解消法が昨年施行されました。しかし視覚等に障がいのある方への入店拒否など差別的な扱いが一部に残っているようです。法に頼らなければ、人としての優しさで生活できなくなった現状に寂しくなりました。優しい日本人はどこへ行ったのでしょうか。日頃からちょっとした気遣い、心遣いを忘れないようにしたいものですね。

嫁って… 編



こうい



「イクメン」や「カジメン」という言葉もだんだん世間に浸透してきました。共働き家庭も増えて、協力しながら子育てをしているカップルも多くなります。「イクメン」と言われることに誇りを持つていて、胸を張って公園デビューというお父さんも増えてきています。しかし「子育てを手伝っている」や「家事をやってあげている」という意識のお父さんもまだ少ないようです。

仕事も育児もというと、時には負担になることもあるでしょう。「博報堂子育て家庭研究所」の調査によると、働く子育て中の女性の約九割が、家事をきちんとできずにストレスがたまると訴えています。特に、散らかった物の片付け、掃除、献立を考える、食後の後片付けなどの家事は、ストレスがふえること答えています。これらの時短を考えたい人は九割になるそうです。また、限られた時間ですべてをやりきろうとするのは、かなり無理があります。

子育ても家事も完璧にという気持ちにならずに、多少の手抜きも必要でしょう。夫君も同じ立場で考えることは重要です。周りの人もブライドを傷つけないように上手に援護したいものです。

